Rhone オクラカード

オクラトキシン A のカード型定性テスト(前処理カラムつき)

オクラトキシン A 用のカード型定性テストキットで、ELISA 法と同じ抗原抗体反応を利用しますが、マイクロウェルではなく、名刺大のカードに埋め込まれたメンブラン上で反応が進みます。試料と試薬を順次滴下した後、紫色スポットの有無を目で確認するだけです(約 15 分)。ウェル洗浄や吸光度測定といったステップはありません。メタノール水等による抽出ろ過後のクリーンアップには専用の前処理カラムとして、イムノアフィニティカラムが同梱されていますので、多種多様な検体に適用可能です。
カードは 1 枚ごと(2 検体)に包装されており、少数検体を簡単にスクリーニング試験する場合に最適です。

品名 コードNo. 価格・仕様	Rhone マイコトキシンカード シリーズ　（製造:R-Biopharm-Rhone 社）	
	オクラカード　(4128P) 10 枚 20 テスト 78,000 円	
キット内容	テストカード(2 テスト/枚 10 枚)、クリーンアップ用イムノアフィニティカラム 20 本 ろ液希釈チューブ 20 本、試料採集チューブ 20 本、PBS 錠 10 個、試料希釈バッファー2 本 洗浄バッファー、反応停止液、酵素複合体、基質液＝各 1 本	
目的・用途	オクラトキシン A の定性スクリーニング	 COPYRIGHT R-BIOPHARM RHONE LTD
原理と 検出限界	カード型メンブラン式 ELISA 法(競合法)	
	穀類:3ppb、グリーンコーヒー・カカオ:2ppb ローストコーヒー、インスタントコーヒー、ドライフルーツ:5ppb	
所要時間 保存条件	カード操作 約 15 分 2～8℃　（試料調製:約 10-15 分 但し検体数による）	
試料調製	**穀類の場合** ①破砕試料 50g を 80%メタノール 100mL でブレンダー抽出(2 分)ろ過(Whatman No.113) ②ろ液 9mL と PBS18mL をろ液希釈チューブに入れ混合 ③25mL を同梱のカラムにとおす(3ppb 基準の場合)(量を変えて基準濃度を変更できます。) ④PBS5mL で洗浄後、メタノール 1mL ついで希釈バッファー2mL で溶出 **穀類の場合(ガラス繊維ろ紙により追加的にろ過する方法)** ①破砕試料 100g を 80%メタノール 200mL でブレンダー抽出(2 分)ろ過(Whatman No.113) ②ろ液 20mL と PBS40mL をビーカーに入れ混合、ガラス繊維ろ紙でろ過 ③25mL を同梱のカラムにとおす(3ppb 基準の場合)(量を変えて基準濃度を変更できます。) ④PBS5mL で洗浄後、メタノール 1mL ついで希釈バッファー2mL で溶出 **グリーンコーヒー／ココアの場合** ①破砕試料 10g を 1%重そう溶液 100mL でブレンダー抽出(2 分)ろ過(Whatman No.113) ②60mL を同梱のカラムにとおす(2ppb 基準の場合)(量を変えて基準濃度を変更できます。) ③PBS5mL で洗浄後、メタノール 1mL ついで希釈バッファー2mL で溶出 **ローストコーヒー／インスタントコーヒーの場合** ①破砕試料 50g をメタノール 100mL でブレンダー抽出(1 分) ②次いで 1%重そう溶液 100mL を加えブレンダー抽出(2 分)、ろ過(Whatman No.113) ③ろ液 12mL と PBS12mL をろ液希釈チューブに入れ混合 ④20mL を同梱のカラムにとおす(5ppb 基準の場合)(量を変えて基準濃度を変更できます。) ⑤PBS5mL で洗浄後、メタノール 1mL ついで希釈バッファー2mL で溶出 ⑥全 3mL をクリーンアップシリンジ(別売)にとおして、さらに精製する。	

本品は食品衛生・環境等に関わる自主検査用キットであり、臨床検査等診断に用いることはできません。　必ず取扱説明書等をご覧頂き、使用・保管・廃棄等の方法には充分ご注意下さい。　なお、価格・仕様など、内容を予告無く変更する場合があります。

アヅマックス株式会社　http://www.azmax.co.jp/　E-mail:sales@azmax.co.jp
ご注文 お問合せは 東京営業所 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-10-7 Tel 03-5543-1630 Fax 03-5543-0312

操作	**ドライフルーツの場合** ①破砕試料 50g をメタノール 100mL でブレンダー抽出（1 分） ②次いで 1%重そう溶液 100mL を加えブレンダー抽出（2 分）、ろ過（Whatman No.113） ③ろ液 12mL と PBS12mL をろ液希釈チューブに入れ混合 ④20mL を同梱のカラムにとおす（5ppb 基準の場合）（量を変えて基準濃度を変更できます。） ⑤PBS5mL で洗浄後、メタノール 1mL ついで希釈バッファー2mL で溶出 カードを室温に放置（30 分）、ポート内の青色スポットを確認。 ①試料 500μＬをカードのポートに滴下し全量吸収させる。（約 5 分以下） ②調製済み酵素複合体液 100μＬをポートに滴下し全量吸収させる。 ③緑の洗浄バッファー液 100μＬをポートに滴下し吸収させる。余剰分はティシューで拭取る ④青の基質バッファー液 100μＬをポートに滴下し吸収させ、発色を待つ。（5 分間計測） ⑤黄の反応停止液 100μＬをポートに滴下し吸収させ、すぐに結果を読み取る。 コントロールスポットの紫発色を確認、左側サンプルスポットが発色＝陰性
その他必要機器 試薬	マイクロピペット（100μＬ、1mL 可能なもの）、同チップ、ろ過器具、破砕器具（ミルブレンダー）、振とう器（あるいはブレンダー、バッグミキサー）、メタノール、蒸留水 **ロースト/インスタントコーヒーの分析の場合：オクラカード用固相カラム（4128PC）50 本￥10,000**

本品は食品衛生・環境等に関わる自主検査用キットであり、臨床検査等診断に用いることはできません。　必ず取扱説明書等をご覧頂き、使用・保管・廃棄等の方法には充分ご注意下さい。　なお、価格・仕様など、内容を予告無く変更する場合があります。

アヅマックス株式会社　http://www.azmax.co.jp/　E-mail:sales@azmax.co.jp
ご注文 お問合せは 東京営業所 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-10-7 Tel 03-5543-1630 Fax 03-5543-0312